受賞のことば

日本小児循環器学会では平成27年より公益財団法人宮田心臓病研究振興基金からの寄付を受け、「**Miyata Foundation Award 日本小児循環器学会研究奨励賞**」を設立しました。多数の応募の中から、記念すべき第1回Miyata Foundation Award日本小児循環器学会研究奨励賞を**廣野恵一先生**（富山大学）、**石崎怜奈先生**（慶應義塾大学）が受賞され、7月の学術集会時に表彰式が開催されました。

石崎怜奈 先生　慶應義塾大学

この度は、栄えある第1回宮田賞をいただき、誠にありがとうございます。

応募テーマである、Noonan症候群の肥大型心筋症に関する研究は、小児循環器学会・遺伝子疫学委員会の調査の集計を担当させていただき、自験例を解析中に、異なる遺伝子変異では肥大型心筋症の病型に違いがあるのでは、と興味を抱いたことから始まりました。そのような素朴な興味を、山岸敬幸先生をはじめとする慶應小児科心臓班の皆様や、大阪大学の小垣滋豊先生、慶應循環器内科の湯浅慎介先生にご指導頂き、研究という形に発展させる事ができました。今はまだ研究の途中ですが、今後一層努力し、肥大型心筋症の病態解明の一助となるよう追求していきたいと思います。

今回の受賞は、大変光栄であり、励みに感じております。これからも臨床上の疑問を探求し、先天性心疾患の子どもたちが少しでも過ごしやすくなるような病態解明を目指して研究していきたいです。

廣野恵一 先生　富山大学

この度、平成27年度Miyata Foundation Award日本小児循環器学会研究奨励賞という身に余る光栄に浴し、大変感謝しております。ご推薦くださいました日本小児循環器学会の先生方を始め、公益財団法人宮田心臓病研究振興基金の理事長、理事、評議員、選考委員の皆様に心より御礼申し上げます。

本研究では、これまでの心筋緻密化障害の臨床遺伝学的研究の集大成として、次世代シーケンサーを用いて、胎児心筋の発達や不整脈にかかわる遺伝子に関して網羅的解析を行い、さらには、患者由来のiPS細胞から誘導した心筋細胞を用いて機能解析を行い、心筋緻密化障害の病態や高率に合併する致死性不整脈の発症機序を明らかにすることを目的に、研究を進めて参る予定です。

この研究を通じて循環器疾患の患者様が将来幸福になりますように微力ではありますが貢献したいと思っています。

最後になりましたが、貴財団のますますのご発展を祈念いたしております。

写真左から：宮田和子様（宮田心臓病研究振興基金理事）、佐地勉先生（第51回会長）、石崎怜奈先生、安河内聰先生（理事長）、廣野恵一先生、三谷義英先生（顕彰委員会委員長）、宮田宏章様（宮田心臓病研究振興基金理事長）

各種学会賞募集について

高尾賞、YIA賞、Case Report Award、Miyata Foundation Award 日本小児循環器学会研究奨励賞を募集いたします。募集要項は来年1月下旬以降に学会ホームページに掲載される予定ですので、ぜひご応募下さい。